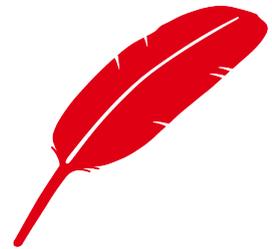


澁沢栄一募金



～未来ある子どもたちのために～

東京都共同募金会では、「経済の発展とともに社会を支える役割を果たす（論語と算盤）」という澁沢栄一翁の信念を引き継ぎ、現代日本の経済・社会の発展の陰で対応しきれていない社会福祉課題への支援に特化した「澁沢栄一募金」を呼びかけました。

令和6年度は、私たちの身近にあり、喫緊に対応すべき社会福祉課題として「能登半島地震被災者の生活支援」、「子どもの貧困・子育てを応援する活動」への支援を掲げ、おかげさまで280万円を超えるご寄付金をお寄せいただきました。

謹んで御礼を申し上げますとともに、みなさまにご寄付金配分先および受配施設・団体からの御礼メッセージをお伝えさせていただきます。

— 社会福祉法人 東京都共同募金会 —

災害被災者のために…

1. 一般社団法人災害協働サポート東京 — 被災者支援事業 —

…東京での大災害に備えるために多様な団体の連携／協働を進めていくことを目的に立ち上げられた災害中間支援組織。防災・減災事業、被災者支援事業、ネットワーク事業を展開しています。



能登半島地震の被災者の方々は、昨年9月の豪雨災害で二重の被害となり、気持ちが前向きになりにくくなってしまっている方も数多くおられます。私たち災害協働サポート東京（CS-Tokyo）は、そんな被災者の方々の生活のすぐそばで定期的なサロン活動に取り組んでいます。

東京から能登という遠距離の支援活動には移動や宿泊といった困難が伴いますが、現地の市民活動団体/企業等、さまざまな方々の協力、そして皆さまからのご寄付によって活動が継続できております。

サロンでは、被災者同士がお互いに励まし合ったり、心配し合ったり、情報交換をおこなったり、東京からのボランティアとお喋りしたり、まさに交流の場になっています。

被害の大きかった奥能登地域での復興はまさにこれからとなります。遠隔地である東京からのボランティア支援には難しさがありますが、支援活動を通じて持たせていただいた縁を大切に、これからも復興に寄与していきたいと考えております。

能登半島地震被災者支援ボランティアの活動費として

500,000円助成

障がいのある子ども達のために…

2.社会福祉法人滝乃川学園 滝乃川学園児童部 —福祉型障害児入所施設—

…日本で最初の知的障がい児者のための社会福祉施設で、1921年に渋沢栄一が理事長に就任しました。家庭養育が困難な子どもに、食事、入浴、排せつなどの身体介護や、日常生活を送るうえで必要な技能訓練、知識習得等の支援を行っています。

この度、施設の子ども達の日常生活や季節毎のイベントなどに使用する机を購入させていただきました。

子どもたちは、皆が集まる食事やレクリエーション、余暇活動をととても楽しみにしています。そのような時に必ず使用する机が、長年の使用で汚れや傷、“がたつき”が目立つようになっていました。

新しい机になり、子どもたちが気持ちよく食事をし、また、イベントに参加できることを大変ありがたく感じております。

ご寄付いただきました皆様の心温まる
お気持ちに感謝申し上げ、
大切に使用させて
頂きます。



施設を利用する子ども達が使う机の購入費として

600,000円助成

子どもたちの居場所支援のために…

3.社会福祉法人興望館 興望館地域活動部 —児童厚生施設—

…児童に健全な遊びを与えて健康を増進し、情操をゆたかにすることを目的とする児童福祉施設。
当施設では、子どもの他、高齢者や学生ボランティアなど多世代と関わりながら支援しています。

子ども達の学習支援やプレゼンテーションを作成・投影するための機器、食体験に必要な調理機器を購入させていただきました。

これらを用い地域の子どもたちが豊かな体験を得て、全人的に育ち、また地域の子育て世代が孤立することなく豊かに生きてくことを応援するための事業を行っていきます。

ありがとうございました。

子ども達の支援に使うプロジェクターなどの購入費として

500,000円助成



社会的養護を受ける子ども達のために…

4.社会福祉法人東京恵明学園 恵明学園乳児部 一乳児院

…色々な事情から家庭で暮らすことができなくなった乳幼児を養育する施設。
0ヶ月から概ね3歳までの乳幼児を対象として、子どもやその家族を支援しています。

この度は、新しいお散歩車をありがとうございました。
新しくなったお散歩車のおかげで、
快適に活動できるようになりました。
春の暖かな気候の中桜を見たり、
チューリップを見たりと生活の幅が広がっています。



これからも子ども達みんなと
色々な所に遊びに行けることが
楽しみです。この度は、本当に
ありがとうございました。



散歩車購入費として

500,000円助成

5.社会福祉法人春和会 わんぱく乳児院 一乳児院

…色々な事情から家庭で暮らすことができなくなった乳幼児を養育する施設。
0歳から就学前までの乳幼児を対象として、子どもやその家族を支援しています。



当施設は乳幼児の入所施設であり、日常生活の中で子どもたちを転倒によるケガから守るために、開設当初から使用していたクッションフロアマットが経年劣化による傷みが目立つようになり、買い替えが必要となっております。

今回、東京都共同募金会の助成をいただき、各居室に新しいクッションフロアマットを配置したことで、子どもたちはより安心・安全な環境で生活することが可能になりました。

渋沢栄一募金にご寄付いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

乳幼児居室用マット購入費として

470,000円助成

<令和6年度ご報告>

寄付の件数・総額：41件 2,844,949円

配分の件数・総額：5件 2,570,000円 (R7.3.31現在)

令和6年度は、おかげさまでみなさまの“想い”を能登半島地震の被災者支援や子育てを支援する団体・施設へお届けすることができました。

未交付の寄付金につきましては、引き続き、未来あるこどもたちのため、そして私たちの身近な喫緊に対応すべき社会福祉課題に対応するため、大切に活用させていただきます。

令和7年度も渋沢栄一翁の信念を大切に“今、必要とされている支援”として「渋沢栄一募金」を呼びかけて参ります。

今後とも、変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



多くの人に多くの幸福 ~ 渋沢栄一 ~